

南海三國志

近詠二十句

二〇一五年六月二十四日

宮城 晴明

パイナップル匍匐前進決死隊

鎮魂の名古屋大学梅一輪

ピョンヤンに疎開の児童腸チフス

烏雲にウランバトル遠しとも

原爆忌人を殺して見たかった

メーデーや老人と犬猫仲間

渡良瀬の川を下るや秋の水

わたくしの憲法記念日は静か

秋出水堯舜治國平天下

連翹や百姓一揆の志

冬すみれスクラム組みし友は今

食べられる草の記憶のたんぽぽよ

十月や歯医者通ひは終りけり

捕はれの蝶は鱗粉振り散らす

牙まがりまろびつ歩む狼よ

満洲の引揚者は田植下手

クリスマス良寛様も楽しげに

さくらんぼ太宰治はコミュニスト

おのずから革命の計元旦に

沖縄の夏は南海三國志